

(表一①) 農用地区域・自作地売買価格

(旧市町村数割合、10a当たり千円)

	中 田				中 畑			
	市 部		町村部		市 部		町村部	
1,000万円未満	12	100%	3	100%	17	89%	6	75%
1,000～3,000万円未満	0	0%	0	0%	1	5%	2	25%
3,000～6,000万円未満	0	0%	0	0%	1	5%	0	0%
6,000～9,000万円未満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
9,000万円～2億円未満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2億円以上	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	12	100%	3	100%	19	100%	8	100%
平均（千円）	2,231		2,061		8,432		7,580	
	横浜・川崎				横浜・川崎 16,585			
県全体	2,197				8,179			
対前年変動率	85%				131%			

(表一②) 農用地区域外(市街化区域を除く)・自作地売買価格

(旧市町村数割合、10a当たり千円)

	中 田				中 畑			
	市 部		町村部		市 部		町村部	
1,000万円未満	9	100%	5	100%	18	95%	8	80%
1,000～3,000万円未満	0	0%	0	0%	1	5%	1	10%
3,000～6,000万円未満	0	0%	0	0%	0	0%	1	10%
6,000～9,000万円未満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
9,000万円～2億円未満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2億円以上	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	9	100%	5	100%	19	100%	10	100%
平均（千円）	2,340		3,083		4,559		7,107	
	横浜・川崎				横浜・川崎 8,295			
県全体	2,605				5,437			
対前年変動率	107%				84%			

(表一③) 市街化区域・自作地売買価格

(旧市町村数割合、10a当たり千円)

	中 田				中 畑			
	市 部		町村部		市 部		町村部	
1,000万円未満	0	0%	0	0%	0	0%	1	50%
1,000～3,000万円未満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
3,000～6,000万円未満	0	0%	2	100%	0	0%	0	0%
6,000～9,000万円未満	2	40%	0	0%	2	25%	1	50%
9,000万円～2億円未満	3	60%	0	0%	6	75%	0	0%
2億円以上	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	5	100%	2	100%	8	100%	2	100%
平均（千円）	114,000		38,026		108,572		36,197	
	横浜・川崎				横浜・川崎			
県全体	92,293				94,097			
対前年変動率	99%				100%			

(表一④) 市街化区域・使用目的変更(転用)売買価格

(旧市町村数割合、3.3㎡当たり円)

	田					畑				
	住宅用	工場用	道路等	学校等		住宅用	工場用	道路等	学校等	
10万円未満	0	0%	0	0%	0	0	0%	0	0%	0
10～30万円未満	2	12%	2	100%	0	2	100%	2	100%	0
30～60万円未満	3	18%	0	0%	0	0	0%	0	0%	0
60～90万円未満	7	41%	0	0%	0	0	0%	0	0%	0
90～150万円未満	5	29%	0	0%	0	0	0%	0	0%	0
150万円以上	0	0%	0	0%	0	0	0%	0	0%	0
計	17	100%	2	100%	0	2	100%	2	100%	0
価格(円) 市部	811,140									
横浜・川崎	811,140									
町村部	173,856					237,798				
県全体	736,165					237,798				
対前年変動率	100%					138%				

道路等=国県道・鉄道用、学校等=学校・公園・運動場・公立病院・公民館など

農用地区域自作地売買価格10a当たり平均、田219万7千円、畑817万9千円

2022年「田畑売買価格等に関する調査結果」(概要)

県農業会議はこのほど2022年「田畑売買価格等に関する調査」の結果(概要)を取りまとめました。この調査は、田畑売買価格等の動向を把握し、農政推進の基礎資料とするため1956年から毎年行っているものです。

今回で66回目となる本調査は、

1950年当時の171の旧市町村を対象に2022年5月1日を調査時点として県内の市町村農業委員会の協力を得て実施しました。調査の結果は県内32農業委員会

のうち「該当なし」を除いた55の旧市町村の報告を集計したものです。調査は全体的に報告件数が少な

7千円、畑で817万9千円と

6000万円未満の価格帯の報告

く、集計値は単純に平均値を出したものであるため、事例が少ない場合や前年に比べて極端に高い又は低い価格の報告がある場合は、

価格が大きく変動します。(表一①)の農用地区域の自作地

売買価格は10a当たり田で219万7千円、畑で817万9千円と

は、10a当たり田で260万5千円、畑で543万7千円となり前年に比べて田で7%の上昇、畑で16%の下落となりました。畑の下落は前年にあつた3000万円

がなかつたことによりです。

(表一②)の農用地区域外(市街化区域を除く)の自作地売買価格

は、10a当たり田で260万5千円、畑で543万7千円となり前年に比べて田で7%の上昇、畑で16%の下落となりました。畑の下落は前年にあつた3000万円

未満の価格帯の報告がされたことによりです。

(表一③)の市街化区域自作地売買価格では、10a当たり田で92万9千円、畑で94万9千円となり、田で1%の下落となりました。

(表一④)の市街化区域使用目的変更(転用)では、3.3㎡当たり田で73万6165円、畑で23万7798円となりました。工場用は田で17万3854円、畑で23万7798円となり、工場用